

# 令和4年度 保護者アンケート

アンケート項目	全校(回答人数)				全校(%)				傾向	
	1. 良くできている	2. できている	3. できていない	4. 全くできていない	1. 良くできている	2. できている	3. できていない	4. 全くできていない	肯定的回答(1+2)	否定的回答(3+4)
1 お互いのよさや違いを認め合える子どもの育成に努めている。	34	55	7	0	35%	57%	7%	0%	93%	7%
2 課題について考えを持ち、班や学級全体で話し合ってから深く考えていけるような子どもの育成に努力している。	32	55	8	0	33%	57%	8%	0%	91%	8%
3 道徳の授業や平和学習、栽培活動などを通して、生命を大切にすることを育てる学習に取り組んでいる。	45	47	3	1	47%	49%	3%	1%	96%	4%
4 参観日での道徳の授業公開や学級懇話会などを通して、学校と家庭が連携して、正しい心や態度を育てよう努めている。	29	58	8	0	30%	60%	8%	0%	91%	8%
5 体育の授業や保健指導を通して、心も体も健康な子どもの育成に取り組んでいる。	39	53	3	1	41%	55%	3%	1%	96%	4%
6 運動や遊びに意欲的に取り組む子どもを育てるため、体育の学習や休み時間の過ごし方を工夫している。	29	56	9	1	30%	58%	9%	1%	89%	10%
7 各教科の基礎的・基本的な学力が身につくよう、わかりやすい授業の実践に努めている。	33	55	7	0	34%	57%	7%	0%	92%	7%
8 家庭学習の手引きを発行し、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣が定着するよう努めている。	28	55	10	2	29%	57%	10%	2%	86%	13%
9 大型TVやタブレットPC活用により、個に応じた指導の工夫を図っている。	37	49	9	1	39%	51%	9%	1%	90%	10%
10 懇談や教育相談、スクールカウンセラーによる相談会をもって、子育て支援を行っている。	39	50	5	1	41%	52%	5%	1%	93%	6%
11 教育目標や平素の教育活動について学校だよりやHPで、保護者や地域に情報を提供し、連携に努めている。	40	50	6	0	42%	52%	6%	0%	94%	6%
12 学期に1回避難訓練を実施し、災害時に身を守り安全に行動できる子どもの育成を図っている。	46	48	1	1	48%	50%	1%	1%	98%	2%
13 保護者や安全リーダー・安全リーダーと連携して子どもたちの安全が守れるよう、引き渡し訓練や集団下校を実施している。	41	48	5	2	43%	50%	5%	2%	93%	7%
14 異年齢(幼稚園や保育園を含む)との交流に努めている。	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%
15 「藤尾っ子のくらし」や生徒指導だよりを発行し、子どもたちがまわりを守って学校生活を送れるよう努めている。	33	55	6	1	34%	57%	6%	1%	92%	7%
16 毎月の「あいうえおアンケート」や教育相談活動により児童の悩みや話を聞く機会を積極的に取り入れている。	29	56	7	4	30%	58%	7%	4%	89%	11%
17 「皇子山中学校区小中学校 5つの約束」を教室や掲示板に掲示するとともに、学校だよりや懇談会を通して保護者や地域に伝えるようにしている。	26	52	15	3	27%	54%	16%	3%	81%	19%
18 人権教育の一環として障がい者理解教育や、車椅子・盲導犬・点字を体験する福祉教育に取り組んでいる。	44	40	8	2	46%	42%	8%	2%	88%	10%
19 子どもは学校にいくのを楽しみにしている。	45	38	11	1	47%	40%	11%	1%	86%	13%

「よくできた」「できた」の肯定的な回答は、19項目のうち18項目で85%をこえています。そのうち12項目は肯定的な回答が90%以上です。

## (1) 肯定的な回答が高い項目について

### 12 災害時に身を守り、安全に行動できる子どもの育成

年間3回の避難訓練を実施しました。また、実際に2回地震が起こり4月に避難したことや、引き渡し訓練を実施し、災害時においてどのような行動をすればよいか児童とともに考えながら取り組むことができました。中学校区で呼び掛けられる不審者情報についても、その都度学級指導をしたり、メール配信で各家庭に注意喚起したりし、子どもたちの危機意識も高まっています。また京都の音羽小学校とも連携して、不審者対応メール等を配信できたことは大きな1歩であったように思います。

### 7 心も体も健康な子どもの育成

体育の授業だけでなく保健指導などを通して、児童の心と体の育成にねらいとして取り組を進めました。また、体力向上の観点から、休み時間に「ふじおスーパートライ」と題し、5分間シャトルランやなわとびの取組を進めています。積極的に運動する機会を持つ場をもつことで体力向上に今後も努めてまいります。

### 3 生命を大切に育てる心の育成

道徳教育の推進を図り、年度当初から力を入れて取り組んでまいりました。2学期には道徳参観や学級座談会と題して、道徳的な価値を視点に置きながらお話し合いをすることができました。6年の『平和学習』では、滋賀県平和祈念館の先生を講師に招き、滋賀県の戦争被害や戦争中の人々の生活について話を聞きました。当時の展示物を見たり、話を聞いたりすることを通して、平和についての自分の考えを深めたり関心を持ったことについて今後の学習のめあてを持ったりすることにつながりました。栽培学習にも力を入れ、植物の生長を肌で感じながら、生命尊重の心の育成を図ってまいりました。引き続き指導してまいります。

### 13 保護者・地域と連携した安全指導(集団登校、集団下校等)

昨年度に実施できなかった引き渡し訓練を行いました。登下校の見守りについては、子ども安全リーダーさんやスクールガードの皆さん、青少年育成学区民会議の皆さん、PTA地域連絡員をはじめとする保護者の皆様の協力を得て、安全に登下校できています。集団登校から遅れて登校する児童に寄り添ってくださったり、登校中に気分が悪くなった児童を介抱し学校に連絡をくださったことにもありました。登下校中の大きな事故や事件もなく元気に通学できていることはたいへんありがたいです。ありがとうございます。防犯教室では、1・2年生を対象に、子ども安全リーダー連絡協議会のみなさんや警察の方が劇やお話をしてくださり、不審者に会った時の具体的な行動の仕方について学びを深めました。

### 11 保護者、地域への情報を提供、連携(HP、学校だより等)

ホームページの「最近の様子」「お知らせ広場」「クラスの広場」などを使って、保護者の皆様や地域の皆様に随時情報を発信してきました。また「学校だより」を定期的に発行し、子どもたちの様子や下校時刻等について情報共有ができるように努めてまいりました。「学校だより」については、地域の方へ学校の取組や行事をお伝えするために、10月よりコミュニティセンターへ掲示をしていただいております。また、「夢づくりプロジェクト」の取組としてパネル展を開催し、地域の方からも児童の頑張りについてお褒めの言葉をたくさんいただきました。校内放送で様子を伝えたり、学校昇降口にたくさんいただいた感想を掲示したりして、子どもたちにも伝えております。

## (2) 肯定的な回答が低い項目について

### 17 皇子山中学校区小中学校 5つの約束について

毎月の生活目標として掲示したり、校長による学期末の表彰などの取組を行ってきました。しかしながら保護者のみなさまへは浸透しきれておらず、学校だけでなく家庭においても取り組めるものとして取り組む工夫をすべしと考えております。1学期には意識して取り組んでいた児童も、2学期入り学校生活への慣れからけじめを付けて行動することができない様子も散見されるようになってまいりました。今後の取り組み方法については検討・改善し、皇子山学区の当たり前のこととして実践できる児童の育成を図ってまいります。

### 8 家庭学習の習慣の定着

家庭学習の習慣化については、学校だけでは取り組むことはできません。家庭の力とともに実践していかなければならないと感じています。本校の児童は比較的いわれたことに対しては、取り組みますが主体性や、自ら学ぶ力に課題があります。そこで家庭学習の在り方について主体的に取り組むことのできる自主学習ノートの推進や、家庭と協力できる課題の提供ができるように工夫した取組を進めていきたいと思います。

### 19 子どもは学校にいくのを楽しみにしている

全体的に多くの子どもたちが楽しく学校に通っていますが、集団で学ぶことにしんどさを抱えている子や友人関係のトラブルなどの悩みを抱えている児童もおります。児童一人一人の思いを大切にしながら学校として配慮できること、ご家庭で協力をお願いすることなどを考え、子どもたちを支えていきたいと思っております。学校は学ぶところです。「わかった。」「できた。」とみんなで学ぶ楽しさを感じさせる授業をし、楽しく学べる学校をめざしてまいります。

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。